

ア ミナ ヘルナンデス 米国出身の元キリスト教徒（上）

:

明:米国人女性による改宗 。第一部。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: ア ミナ ヘルナンデス

日 7 Jul 2015

集日 27 Jul 2015



1980年代に米国で育った私にとって、イスラ ムに する知 は最小限のもので、それも ったものでした。父は私と弟に、世界情 や他文化について を持ち、たくさん をするよう 教えました。当 、メディアはイラン革命とパレスチナ情 を元にイスラ ムを描写して いました。女性 の描写は、映画「星の流れる果て（原*N'ot Without My Daughter* ）」のそれに限定されていました。その映画を に たことはなかったものの、当 の私の 理解は、ムスリム女性は夫の奴 であり、一夫多妻制の数に制限はなく、女 を出 した妻 たちは暴力を振るわれるか、もしくは 害され、男 を生み けない限りは されるのだとい うものでした。 を覆うベ ルや、 もの 装束に完全に包まれた女性たちの光景を せつけられ、マドンナやシンディ ロ パ の 代に育っていた私たち少女はとても い恐怖心を植え付 けられました。それらの に加え、中 の女性たちは家から出ることができず、 困の中に 暮らし、他の妻たち、そして子どもたちと部屋を共有し、夫に会うことは稀であると 私たちは学校で教えられてきました。イスラ ムの 史 文化についての非常に限定的な授

では、中 文化と宗教としてのイスラ ムとの いが示されることはありませんでした。私はアラブ人や一部のアフリカ系米国人の他にはムスリムがいるとは全く知らず、すべてのアラブ人がムスリムではないということも知りませんでした。

私は父から、「最高の教育とは による独学である」と教わったため、真 に をするようになりました。私の外出先は必ずと言っていいほど で、私は に没 していたことから、は私へ を与えたいときは私の本を取り上げたものでした。アルハムドゥリッラ（アッラ に えあれ）、 をする 持ちは私の中に留まり、全く予期してはいなかったものの、それは私をイスラ ムへと くこととなります。小学5年生のときにマルコムXの を んだとき、私の 持ちはイスラ ムに 倒することはなかったものの、豚肉を食べることがなくなりました。それは、私の考え方には大きな 化をもたらすことはなかったものの、日思い返してみると、それは私の心に何かを植え付けたことを自 することとなります。ただ、当 の私はそれについて めたくも考えたくありませんでした。

それ以降、私は虐待や乱暴を受けたり、他人に利用されたりしました。そうして私は16 で 家から出ることにしました。弟は家に残りましたが、ギャングに わっており、そのことで を抱えていました。私は 事に高校を卒 し、自分自身で 任ある生活をしていたことに りを持っていました。その当 は神については殆ど考えたこともありませんでした。私はウィッカ（白魔 ）に一 わるようになりましたが、 び半分で行っていたため、自分自身や他人に深刻な被害を与えることがなかったことにほっとしています。また、的ケルト アメリカ先住民の精神世界（私はアメリカ先住民とアイルランド人の血筋です）、そしてヒンズ 教 教などのかじり始めました。ただし、それらのいずれも理解した ても、「超越した存在」と交信できた てもありませんでした。

私はかなり奔放な性生活、 物使用、クラブやパ ティ 通いをしていました。私は をも「し」、未来や来世のことなど省みることなく、快 主的な生活を していました。私は重度の 病にも苦しみました。、 には幼い からキリスト教徒の による しい が一役 っていました。私は には自 を みたりもしましたが、アッラ の恩 により、私の心も身体も一生消えない を うことはありませんでした。

私は社会に なるようになり、 々な を支援 支持しましたが、私の人生自体は 任 まりないものでした。私は定 についていませんでしたし、その日暮らしでだらしのない生活を送っていました。お金はなかったものの、私自身は物 主 者で独りよがりでした。私は社会に して本当に有益なことはしたことがなく、金 的には家族や友人たちに依存していました。

私が弟のギャングメンバ たちと密接に わり出したのはその でした。私との によって、弟と彼の友人たちはギャングを去ったものの、多くの が待ち受けていました。私の新たな恋人は深刻な 物依存症で、私はそれに して す を持ちませんでした。私たちは非常に多くの法律 反を犯し、 分を避けるために他の州に逃げたりしていました。その当 が最も 酷な 期で、私は公 で暮らし、 死寸前までいき、 数の流 を し、お金のためにはそれまで考えたこともなかったようなことまでするようになっていました。

出身州に ってくると、恋人は逮捕され、私は再び妊娠していたことが判明しました。アッラ の奇 により、私の子は健康で、出 まで至ることができました。その しばらく つと、留置 の中で弟がイスラ ムに改宗し、その 放されました。彼は引っ越して がつかなくなっていたものの、私の子が生まれると、家族を れてやってきました。彼は自分が学んでいることをたくさん教えてくれましたし、私は彼の性格や 度の 化に感 しました。イスラ ムの 性は彼に、好影 を与えたようでした。彼はそれ以前に、 合失 感情障害（合失 症に幻 症状や重度の 病が混在するもの）を患っていましたが、改宗 には症状がなくなり、治 も必要なくなりました。

弟は やかで物腰が柔らかくなり、服装もきちんとし、尊 ある男性となりました。彼はイスラ ムの基本を私に教えてくれ、私も彼がイスラ ムの信仰を 出したことに喜びを感じましたが、私自身の人生を えることには 心がありませんでした。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2794>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。